

式 辞

朝の空気に、春の香りを感じられるようになり、この日を待っていたかのように、校門の桜も満開を迎えています。

本日、PTA会長 栗原泰道（くりはらやすみち）様の御臨席を賜り、令和四年度福井県立三国高等学校の入学式を挙げていただけますことは、本校にとりましてこの上ない慶びであります。

ただ今、入学を許可しました138名の新入生のみなさん、入学おめでとう。

保護者の皆様、お子様の御入学、おめでとうございます。本日の晴れ姿に、感慨もひとしおのことと思います。

本校は、1909年（明治42年）創設の坂井郡立女子実業学校を前身とし、今年創立114年目を迎えました。輝かしい歴史と伝統のある、地域に根ざした学校です。

校訓は『心高かれ』。2005年（平成17年）に新たに制定されたこの校訓は 戦中戦後をこの地で過ごした著名な詩人、三好達治作詞の本校校歌の歌詞から制定されました。

『教育目標』は、「高い志を持って自律的に行動し、地域や社会の発展に貢献できる人を育成する」としています。高い志を持ち、自分の能力を最大限に伸ばし、それを地域や社会のために活かすことができるようになってほしいという願いをこめて設定されました。新入生の皆さんも、校訓に込められた意味を感じつつ、新型コロナウイルス感染拡大防止のための「新しい生活様式」を意識しつつ、充実した学校生活を送ることを期待します。

そこで、これから3年間の高校生活をスタートする皆さんに、考えてほしいことをお話しします。

それは、自主的な学びと経験についてです。世の中の価値観が大きく転換し、予測が困難なこれからの時代を生きる皆さんにとって、生涯にわたって様々なことを学び、進むべき方向を定めていくことは、欠かすことのできないことだと考えます。自分の世界を広げ、見識を高めるための学びや経験をどんどん進めてください。

自主的な学びと経験により身につく力とは、自分自身で考え、判断し、それを人にしっかりと伝え、行動する力です。自主的な学びと経験は、生活すべてを通して得られるものです。勉学や部活動の高校生活のすべての場面において、進んで学び、経験しましょう。そして、自分自身の興味関心のあることを見つけたり、さらには人の役に立つことをしたりすることなどに時間を使ってください。

三国高校は昨年度より、文部科学省『地域との協働による高等学校教育改革推進事業』の推進校に指定されています。地域の資源に新しい価値を見だし、地域を活性化するプロジェクトの実施を通して、未来をつくる人材を育成する探究学習に取り組んでいます。取り組みの様子は、新聞、TV等の報道や中学校にお送りした三高 NEWSでご存じでしょうか。

地域におけるさまざまな社会体験は、「答えのない課題に対して、自分で考え、自分で体を動かして取り組む経験」となります。学びの場を学校から地域に広げることで、生徒は、この学びは未来へつながっていると実感し、また、「自分らしく」社会に貢献することで、より一層成長すると感じます。新入生の皆さんも、この活動に是非挑戦して、進路の選択や生きる力の育成につなげてください。

皆さんはいま、人生の中で最も聡明で健康かつ意欲に満ちあふれています。ここで得た学びと経験は必ず皆さんの未来の糧になります。

最後になりましたが、ご子息の成長を支えてこられました保護者の皆様には、これまで様々なご苦勞を乗り越えられ、本日を迎えられたことと思います。私たち教職員一同、常にお子様の隣に寄り添い、一緒に行動していく覚悟です。

本校が、地域に信頼される学校として、伝統を守りつつ、さらに輝いていくために、学校と保護者の皆様との密接な連携、相互の信頼が欠かせません。ご家庭におかれましても、学校の方針をご理解の上、お子様の基本的な生活習慣、将来の目標などについて、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和4年4月7日

福井県立三国高等学校長 富澤 宏二